

平成30年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人 京都社会事業財団	代表者	野口雅滋	法人・ 事業所の 特徴	事業所の理念【「思い」「暮らし」「絆」を支援する】を職員全員が共有し実践できる体制を構築し、利用者の「思い」の実現に向けた支援を目指しています。事業所は長年、地域の人々に親しまれた集会場を改修併設され、地域福祉の拠点となっています。地域行事等、地域の住民協働による活動に積極的に参画し、地域との繋がりを大切に事業運営をしています。
事業所名	京都厚生園松尾の家	管理者	久保健太郎		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	2人	3人	1人	1人	1人	人	2人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	私の支援マップシートを作って地域の中での活動の場を広げるために地域の民生委員や老人福祉員などの協力を得ながら地域包括支援センターと連携を図っていく。	個々の利用者に対して「私の支援マップ」を作成し、職員間で情報共有を図っている。小規模の柔軟で多様性のある支援を提供するために、利用者の暮らしに着目する機会となり、利用中にはわからないことも多かった。	利用者のこれまで大切にしてきたこと、続けて行きたいことなど、家族にとって気づかないことを大切にしてもらえることは本当にありがたい。	「これまでの暮らし」や「大切にされていること」等を聞き取り、介護計画の目標に繋げ支援する。
B. 事業所のしつらえ・環境	開所10年が経過し家具等物品の修理が必要になってきている為、計画的に改善に向け随時対応していく。	家具の修理、空調機器の清掃、植木の剪定について、計画的に実施。家電製品などについては適宜、修理を依頼し行った。	不快な音や臭いは感じない。	利用者に迷惑が掛からないよう配慮し、定期的なメンテナンスや修理が必要な物について、計画的に改善に向けて随時対応していく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域ケア会議等の地域づくりに積極的に参加する。事業所に気軽に足を運んでもらえるよう行事の企画を検討する。地域の方々に事業所について知っていただくための広報や有効な案内方法について検討する。	地域住民が参加できる行事を年2回(ちびっこ交流会、餅つき)開催。また松尾小学校3年生の課外授業の一環で、高齢者との交流をはじめ、松尾の家の事業説明をさせていただき、身近に感じてもらえるよう工夫した。	事業所が対象としている3学区の内、「松尾」「松陽」では、それなりに知っている人も増えているが、「嵐山東」での知名度はまだ。また「松尾」の中でも地域差がある。	地域の方々に事業所について知っていただくため、ブログの更新を定期的に行う。地域の各種団体と一緒に活動する機会を持つ。(地域ケア会議、認知症サーポーター養成講座、小中学校での地域行事に参加)。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	体調不良などで通いに来られない時にも自宅に出向いて支援する訪問サービスができる職員の研修を計画的に実施し体制を整える。	独居利用者が増え、訪問援助回数が増加している中、研修を実施し訪問援助ができる職員を育成している。また定期的に個別訪問援助計画の見直しを実施している。	利用者のその日の体調や気分により「通所」に行かない事情は理解できる。訪問援助に切り替えるなど、柔軟に対応できる事業の必要性は高い。	「私の支援マップシート」を適宜追記し、小規模だけで完結しないよう地域資源を活用した支援を検討する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	引続き運営推進会議で事業所の活動をより分かりやすく説明できるよう工夫改善していく。行事へ参加していただく機会を設け、意見が出しやすいようにする。	運営推進会議のテーマを決め、年間計画を提示。テーマに沿った運営推進会議の進行ができた。また事業所の活動内容をスライド写真にまとめて、分かりやすく説明することができた。	家族参加が多い事業所では、ケアの困りごとやテーマを決めた勉強会などを開催されている。	利用者、家族の運営推進会議参加を促し、日常生活の困りごとなどを抽出する機会を持つ。
F. 事業所の防災・災害対策	災害時に使用する備品(担架等)の整備を行う。松尾の家ができることを検討する。避難場所になりえる場所でもある重要性を考える。	水害等があった場合、担架使用での2階への避難誘導は現実的ではなく、人的な応援体制が必要であると判断。また、災害時の地域拠点としての機能については、災害直後の一時的避難場所や、情報拠点に留めることとした。	夜間想定訓練に参加した。火災の痕には停電になることが想定される。暗闇での活動は非常に恐怖を感じる。夜間に訓練することは難しいが、停電を想定した訓練や懐中電灯やランタン等、電源の置き場所を決めておくこと。	停電を想定した訓練の実施及びマニュアルの見直し、アクションカードの整備をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

ミーティング 実施日	1回目:平成30年11月22日(木) 17:30~19:15 2回目:平成30年11月26日(月) 17:30~19:15
---------------	--

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー	1回目:久保 佐藤 谷口 松浦 大東 横山 平田 2回目:久保 松浦 塚本 山内 竹中 岡崎 池田
------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	11	0	0	13

前回の改善計画

【目標】新規利用開始前の情報収集とケアの統一を、職員間で情報共有の方策を考える。
【計画】期間:12ヵ月
①ミーティングを活用し 新規利用開始前に情報を共有し、暫定的に支援の目標を設定する。
②利用開始1か月後アセスメントシートに基づき担当職員が本プランの原案作成し多職種でカンファレンスを実施しプランの見直しを実施する。

前回の改善計画に対する取組み結果

①具体的な目標の設定はできていないが、サービス開始前にアセスメントシートを作成し、事業所内で情報共有を図った。
②新規利用開始1か月後に、ケア・カンファレンスを開催。ケアプラン及び小規模多機能型居宅介護計画の見直しを実施した。それを元に利用者、家族に実施状況の評価をした。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	7	0	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	10	1	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	7	6	0	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	8	0	0	13

できている点

ミーティングを通じて、新規利用者の心身の状況について職員間で共有を図り、関わり方についても検討している。事業所に慣れない時期については、安心して頂けるように座席の工夫や休息の取り方など、ご利用者に合わせて職員が声かけをし、他者との関係づくりと、小規模の暮らしの中での目標や役割を積極的に実施している。
新規利用開始1か月後に、ケア・カンファレンスを開催し、小規模多機能型居宅介護計画の見直しを利用者、ご家族ともに相談し実施している。

できていない点

新規利用者の家族に対しては、介護支援専門員を中心に利用時の様子などをお伝えし、安心していただけるように働きかけているが、この専門職による積極的な働きかけの機会が少なく、顔の見える関係づくりは充分ではない。
新規利用者について心身の状態や自宅での過ごし方について、思いや大切にしていることを利用開始時までに情報を深めるのは難しい。各専門職によるインターク時からの関わりが必要と思われるが、体制上難しい。

次回までの具体的な改善計画

【目標】新規利用開始前の情報収集とケアの統一を、職員間で情報共有し実施する。
【計画】期間:12ヵ月
①効率的に情報収集できるように、面接時に聞き取りシートなどを家族や地域の協力を得ながら作成する。

事業所自己評価・ミーティング様式	ミーティング実施日	1回目:平成30年11月22日(木) 17:30~19:15 2回目:平成30年11月26日(月) 17:30~19:15
------------------	-----------	--

2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	1回目:久保 佐藤 谷口 松浦 大東 横山 平田 2回目:久保 松浦 塚本 山内 竹中 岡崎 池田
--------------------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	10	2	0	13

前回の改善計画
【目標】自己実現の支援に向けた目標設定を検討する。 【計画】期間:12ヵ月 ①カンファレンスにて、目標達成するための具体的なケア内容、方法、頻度、評価期間を決める。
前回の改善計画に対する取組み結果
①定期的なケア・カンファレンスを通じて目標を設定。実現可能な個別性のある具体的な目標までは設定できていない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	9	3	0	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	11	1	0	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	9	4	0	13
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	9	3	1	13

できている点
ご利用者の目標については、ケア・カンファレンスを通じて定期的に再確認している。目標に向けた支援ができるように、介護計画書の見直しをしている。また利用者個別ファイルを作成し、随時、職員が介護計画書を閲覧できるよう情報共有も図っている。 創作意欲の高いご利用者による作品展示会への参加やボランティアさんへのプレゼント作りを、個人のできる特技を活かした取組みが実施出来た。

できていない点
日々のミーティングについては、ご利用者の心身における課題に目を向け検討することが多く、生活の質の向上に向けての取組みを検討する機会は少ない。利用者の思いや暮らしの中で大切にしていること、など充分聞きとれていない。

次回までの具体的な改善計画
【目標】利用者の願いを聴き、叶える取組みを考える。 【計画】期間:12ヵ月 ①今できていること、大切にしていることを知って、

事業所自己評価・ミーティング様式

ミーティング実施日	1回目:平成30年11月22日(木) 17:30~19:15 2回目:平成30年11月26日(月) 17:30~19:15
-----------	--

3. 日常生活の支援

メンバー	1回目:久保 佐藤 谷口 松浦 大東 横山 平田 2回目:久保 松浦 塚本 山内 竹中 岡崎 池田
------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	4	8	0	13

前回の改善計画	【目標】家族、地域住民等の協力を得ながら、「以前の暮らし方」について情報収集し、利用者の地域での暮らしに繋げていく。 【計画】期間:12か月(頻度:2回/年) ①利用者の「以前の暮らし方」について、アンケート形式にて家族に協力を得て情報収集を図る。 ②各地域の老人福祉委員、民生委員との連携を図り、情報収集を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	①「以前の暮らし方」について情報収集する方策として、インテークの時点で、センター方式の一部を使用し、家族等に協力頂くことを検討したが、実現できていない。 ②老人福祉委員、民生委員との連携については、何か課題がある場合に限られるため、独居や高齢世帯すべては対応できていない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	8	2	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	10	0	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	10	1	0	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	7	0	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	11	0	0	13

できている点	支援についての情報は、遠方に居住されていたり、就労されている家族にも具体的に伝わるように工夫して、自宅での生活状況について情報共有を図っている。事業所での日中の過ごし方、宿泊時の環境設定等の参考にしている。また日々のミーティングを通じて、利用者の個々の状態に応じて基礎的な介護の見直しが図れている。
--------	---

できていない点	利用者の住み慣れた自宅での生活が継続できるように、「できる能力」を活用したケアの提案や提供が充分とは言えない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	【目標】家族等の協力を得ながら、「自宅での生活」について情報収集し、これまでの生活の継続性を支援する。 【計画】期間:12か月(頻度:2回/年) ①「これまでの暮らし」や「大切にされていること」等を聞き取り、プランの目標に繋げる。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	ミーティング実施日	1回目:平成30年11月22日(木) 17:30~19:15 2回目:平成30年11月26日(月) 17:30~19:15
------------------	-----------	--

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	1回目:久保 佐藤 谷口 松浦 大東 横山 平田 2回目:久保 松浦 塚本 山内 竹中 岡崎 池田
---------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	3	6	4	13

前回の改善計画
【目標】利用者の地域の中での活動の場を広げていく。 【計画】期間:12か月(頻度:2回/年) ①主に独居の利用者については老人福祉委員、民生委員との連携を図り、本人の暮らしの把握に努める。 ②私の支援マップシートを作成して適宜追記活用する。
前回の改善計画に対する取組み結果
①老人福祉委員、民生委員との連携については、何か課題がある場合に限り連携を図っているが、密な連携や情報収集は実施できていない。 ②順次、個々の利用者ごとの私の支援マップシートを作成中だが、職員間での情報共有、追記、運用は十分ではなく活用できていない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	5	7	0	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	12	0	1	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	7	5	1	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	5	6	2	13

できている点
特に独居利用者については、本人の生活スタイルやこだわりを大切に支援できるように職員間で意識し、訪問援助などを活用して実施している。尚、これまで利用していた馴染の美容院や電気屋、商店等を把握し、利用する機会は増えている。また行事やボランティアを通じて、地域との繋がりが切れることのないように支援している。 平成30年10月に家族会を実施した。参加家族は少なかったが、「以前の暮らし方」や、家族の心境の変化等を聞かせていただき、理解を深めることができた。

できていない点
利用者の「以前の暮らし」について、家族(後見人)など、これまで利用者に関わってきた方から情報を収集する機会は増やしたが、積極性には欠けている。 地域行事について、松尾学区については把握しているが、嵐山東学区、松陽学区については把握できず参加できていない。

次回までの具体的な改善計画
【目標】家族等から「以前の暮らし方」について積極的に情報収集し、利用者の地域での暮らしや活動に繋げていく。 【計画】期間:12か月(頻度:2回/年) ①家族等に協力を得て「私の支援マップシート」を作成し、身近で支援したり、心配してくれる方々の存在を把握する。

事業所自己評価・ミーティング様式

ミーティング実施日
1回目:平成30年11月22日(木) 17:30~19:15
2回目:平成30年11月26日(月) 17:30~19:15

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー
1回目:久保 佐藤 谷口 松浦 大東 横山 平田
2回目:久保 松浦 塚本 山内 竹中 岡崎 池田

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	10	3	0	13

前回の改善計画
【目標】地域資源を活用した支援を検討する。 【計画】期間:12か月 ①利用者の地域資源を把握し、地域資源を活用したケアを検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果
①利用者によっては、これまで馴染みの美容院や商店等を把握し、インフォーマルサービスを活用したケースがあるが、介護保険事業所のサービスに偏る傾向が強い。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	8	5	0	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	11	0	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5	8	0	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	8	0	0	13

できている点
緊急時など即時的に「訪問」「宿泊」「通い」のサービスを提供するなど、事業所におけるサービスについては柔軟な支援ができている。医療的視点が必要な時は事業所の看護職員の訪問を実施。また主治医や訪問看護との同行など連携を図っている。

できていない点
昨年度、訪問体制を強化し、「宿泊」「通い」「訪問」の特に夕方以降の訪問サービスを必要性に応じて支援するように、体制を整備した経過があったが継続できなかった。また利用者の支援を家族と事業所だけで解決してしまう傾向は強く、地域にある機能や他施策を合わせた支援は充分ではない。

次回までの具体的な改善計画
【目標】地域の見守り支援や訪問配食サービス、など、地域のサービスの実態把握を行う。 【計画】期間:12か月 ①利用者の強みをスタッフ間で共有して、必要な支援とその量について協議し、経過と変化を記録する。

事業所自己評価・ミーティング様式

ミーティング実施日	1回目:平成30年11月22日(木) 17:30~19:15 2回目:平成30年11月26日(月) 17:30~19:15
-----------	--

6. 連携・協働

メンバー	1回目:久保 佐藤 谷口 松浦 大東 横山 平田 2回目:久保 松浦 塚本 山内 竹中 岡崎 池田
------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	9	3	0	13

前回の改善計画
【目標】地域との繋がり社会性を維持する。 【計画】期間:12か月(頻度:2回/年) ①地域包括支援センターと連携を図り、積極的に「地域づくり」に参画していく。 ②私の支援マップシートを作成して適宜追記記載していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
①地域包括支援センターからの依頼を受け、地域ケア会議、認知症サポーター養成講座には積極的参加している。 ②順次、私の支援マップシートを作成中で、職員間での情報共有は十分でなく、効果的な活用には至っていない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2	9	1	1	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	4	6	1	2	13
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	4	7	1	1	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	5	6	1	1	13

できている点
学校行事や町内会のイベントには利用者を含め参加している。また世代間交流など地域住民を招待する事業所の行事も定期的を実施している。事業所としては、「高齢者見守り支援及び行方不明高齢者発見のネットワーク」への登録など、利用者の暮らしの中の課題において、必要に応じて地域包括支援センターとの連携、他の医療機関や関係機関との連携、情報共有に努めている。

できていない点
地域ケア会議、認知症サポーター養成講座など、地域包括支援センターの会議に参加しているが、地域密着事業として「地域づくり」に貢献している実感は薄い。地域包括支援センターからの利用相談や新規紹介は増えているが、自治体や地域からの相談、紹介は少なかった。

次回までの具体的な改善計画
【目標】利用者の暮らしを支えるために、小規模だけで抱え込まない。 【計画】期間:12か月 ①地域の各種団体と一緒に活動する機会を持つ。(地域ケア会議、認知症サポーター養成講座に参加) ②「私の支援マップシート」を作成して、適宜追記記載していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

ミーティング実施日
1回目:平成30年11月22日(木) 17:30~19:15
2回目:平成30年11月26日(月) 17:30~19:15

7. 運営

メンバー
1回目:久保 佐藤 谷口 松浦 大東 横山 平田
2回目:久保 松浦 塚本 山内 竹中 岡崎 池田

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	5	5	2	13

<p>前回の改善計画</p> <p>【目標】地域連携による会議の内容について、職員間で共有する。 【計画】期間:12か月(頻度:2回/年) ①地域の会議や活動について、職員会議を通じて報告する機会を設定する。</p>
<p>前回の改善計画に対する取組み結果</p> <p>①職員会議にて報告する機会を設けたが、身近なこととして具体的に周知できていない。</p>

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	2	7	3	1	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	9	1	0	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	10	1	0	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	10	2	0	13

<p>できている点</p> <p>子ども祭りや松尾小学校との交流会、地域の福祉祭り、同じ建物中にある地域の集会場の運営会議等は定例で参加している。地域の福祉拠点として周知する機会を積極的に図っている。</p>
--

<p>できていない点</p> <p>地域行事や地域活動を掲示したり、小規模部会など外部の会議や研修に参加した場合、すべて報告書を作成し、適宜、閲覧できるようにしているが、職員全員へ必要な事項を周知できていない。</p>

<p>次回までの具体的な改善計画</p> <p>【目標】地域連携による会議の内容等について職員間で共有を図り、職員一人ひとりが運営に参画する意識を高める。 【計画】期間:12か月(頻度:2回/年) ①職員会議にて報告する機会、及び報告書が閲覧できるように回覧物BOXを作る。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式	ミーティング実施日	1回目:平成30年11月22日(木) 17:30～19:15 2回目:平成30年11月26日(月) 17:30～19:15
------------------	-----------	--

8. 質を向上するための取組み	メンバー	1回目:久保 佐藤 谷口 松浦 大東 横山 平田 2回目:久保 松浦 塚本 山内 竹中 岡崎 池田
-----------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	9	0	0	13

前回の改善計画
【目標】訪問介護技術のスキル向上。 【計画】期間:12か月(頻度:適宜) ①訪問介護の勉強会開催し、スキル向上を図る。 ②マニュアルの見直し修正。
前回の改善計画に対する取組み結果
①訪問介護の基本について部署内研修を実施。訪問援助に従事する際の基本的な姿勢について学習。 ②主に業務の見直し改善を実施し、職員間で周知を図っているが、マニュアルの更新や修正が追い付いていない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	7	2	0	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	6	1	1	13
③	地域連絡会に参加していますか	1	5	6	1	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	7	2	0	13

できている点
訪問援助の基本姿勢について研修を実施した。個別の訪問援助計画についても適宜、追記修正を実施し、職員間で周知を図り活用できている。 職員の部署内、園内研修について、計画的に個別研修計画を作成し、スキルアップを図っている。

できていない点
小規模部会への参加は主に管理者の参加にとどまり、介護支援専門員や介護職員等、一般職員の小規模多機能型居宅介護への理解が深められていない。 訪問援助の基本姿勢について研修を計画的に実施したが充分とは言えず、継続してスキルアップが必要。

次回までの具体的な改善計画
【目標】訪問援助でのリスクについて担当者中心に意識的に取り組み、スタッフ全員で情報を共有する。 【計画】期間:12か月(頻度:適宜) ①外部研修、小規模部会に現場職員が参加し、情報共有の機会を持つ。 ②訪問での予測されるリスク、予防的対応を全スタッフが共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

ミーティング実施日
1回目:平成30年11月22日(木) 17:30～19:15
2回目:平成30年11月26日(月) 17:30～19:15

9. 人権・プライバシー

メンバー
1回目:久保 佐藤 谷口 松浦 大東 横山 平田
2回目:久保 松浦 塚本 山内 竹中 岡崎 池田

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5	8	0	0	13

前回の改善計画
【目標】個人情報を適切に取り扱う。 【計画】期間:12か月(頻度:2回/年) ①事業所にて取扱う個人情報の管理について見直す機会を設定する。 ②事業所内での自己評価の機会をもって不適切なケアがある場合には職員間で共有する機会を持ち改善に向けて検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果
①個人情報の管理、取扱いについて部署内研修を実施したが、事業所内で具体的なマニュアルの見直しや修正には至っていない。 ②日々の自身の介護について見直す機会を設定し、松尾の家の介護ルールを作成した。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	12	1	0	0	13
②	虐待は行われていない	12	1	0	0	13
③	プライバシーが守られている	5	8	0	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	7	1	0	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	8	0	0	13

できている点
法令順守、身体拘束廃止、高齢者虐待、個人情報保護、プライバシー保護、権利擁護の研修を実施している。事故苦情があった場合、迅速に振り返り、組織的対応に努めている。

できていない点
個人情報の管理について、主にパソコンの「松尾の家共有フォルダ」の使用状況が煩雑になっている。

次回までの具体的な改善計画
【目標】個人情報を適切に取り扱う。松尾の家の「介護ルール」を遵守する。 【計画】期間:12か月(頻度:2回/年) ①パソコンにある個人情報の取扱いについて、マニュアルの見直し及び周知徹底。 ②松尾の家「介護ルール」が遵守できるように自己評価を実施し課題を抽出。課題についてはチームで改善案を検討し実践に繋げる。